福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	一般社団法人ふくおか FUN
代表者名	大神　弘太朗
所在地	819-0044 福岡市西区生松台３丁目１９番５号
電話番号	092-407-6970
ホームページ	https://fun-fukuoka.or.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	出勤時間を自由に子育て支援として、急遽休みを取れる仕組みの導入。 テレワーク制度を導入ししている。 現場への直行直帰の許可および自宅での作業が困難な場合には報告を後日行うなど無理のない業務体制を整えている。 会社として目指す方向性だけでなく、個人が目指したい方向性を尊重し所属部署および業務内容などは職員それぞれが決定している。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs															
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ 等）が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	職員の7割が女性、5割が30代以下の若手。ボランティアスタッフには中学生から70代まで幅広い世代が在籍している。					○			○		○							
人権・労働	**【多様な働き方の促進】** ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を 導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	出勤時間を自由に設定している。急遽休みを取れる仕組み、テレワーク制度を導入している。現場への直行直帰の許可および自宅での作業が困難な場合には報告を後日行うなど無理のない業務体制を整えている。					○			○		○							
人権・労働	**【人権の尊重】** ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、 ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	どんなキャリア、立場であっても発言の平等性を担保し、議論は複数名で行うことを義務化している。また陰口などの誹謗中傷が発生しないよう、速やかに報告、注意喚起できる環境を整えている。					○			○		○						○	
人権・労働	**【従業員の心と体の健康への配慮】** ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に 取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	ワークライフバランスを尊重し、対話を重ねた上で勤務内容、日数を確定している。不妊治療中の職員は潜水を控えさせるなど、身体への配慮を行っている。事務所内は常に顔が見える配置にしており、職員の変化に早急に気づき、悩みを共有できる場作りを行っている。			○		○			○									
人権・労働	**【人材育成】** ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を 提供している。		○	○	職員には能力開発、自己成長に繋がる研修費を年間10万円確保しており、この参加先も自身で選択できる仕組みになっている。現在2名のインターン生受け入れを行っており、学びの場を相互に提供し合っている。（大学生・専門学生）				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に 努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	西部3Rステーションと密な連携をとり、合同でイベント企画をするなど、社会に3R普及をしている。海岸・海中の廃棄物や海洋プラスチックに吸着する有害物質について研究者とも議論し、POPs以外の有害物質にもアンテナを張っている。			○			○					○	○		○			
環境	**【温室効果ガスの排出削減】** ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、 温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	福岡市におけるブルーカーボン・オフセット制度において、クレジット購入をするとともに、アマモ場の炭素固定面積の算出を潜水で行っている。またアマモ場の造成を市民行政と行い、排出削減だけでない脱炭素へのアプローチを行っている。							○					○	○				
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか 確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	博多湾を中心に定期的な潜水を行い水中生物の生物多様性を事実ベースで捉えている。その場における水中環境課題をいち早くキャッチし、社会に発生抑制の啓発を行っている。						○						○	○	○	○		
環境	**【水資源の有効活用】** ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に 努めている。	○			河川からの良質な水が海洋環境課題を解決する大きな一歩となるため、自社の利用だけでなく社会に向けて啓発を行っている。福岡県主催の「ふくおか水もり自慢」では事務局（福岡地区）を務め県内の様々な団体と連携している。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための 仕組みを構築している。		○	○	サービスの全てが「自然伝承」に伴った活動を行っている。子どもへのスノーケリングなど危険な活動もあるため、定期的な安全講習を開催し、レスキュースキルを磨いている。活動時にはリスクアセスメントを行いヒヤリハットだけでなくファインドのレベルで危機管理を行っている。			○									○					
製品・サービス	**【社会課題解決】** ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップに より、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組 んでいる。	○	○	○	社会課題解決をするために自社を設立している。200機関を超える行政・NPO・企業・大学・その他教育機関と連携し地球環境を保全する活動を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		イベント参加者へのメール送信時にはBCCとし、送信前には複眼で必ず確認した上で行っている。イベント時には参加者へ顔出し確認を行っており、徹底したプライバシー配慮も行っている。																○	
公正な事業慣行・組織体制	**【法令遵守】** ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する 体制・仕組みが整備されている。		○		自社でガバナンス・コンプライアンス体制を書式化している。また連携する機関が多く存在しコンプライアンス範囲がその都度変化するため、毎回担当者と対話し遵守する範囲を設定し、周知徹底した上で活動している。																○	
公正な事業慣行・組織体制	**【内部管理体制】** ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	経営理念および目標を明確に設定し全職員と共有するとともに、全ての意思決定は理念をもとに行われている。								○	○								○
公正な事業慣行・組織体制	**【事業継続、事業承継】** ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	後継者の指導・育成に取り組んでいる。教育機関での授業・講演やインターン生を積極的に受け入れるなど次世代育成にも取り組んでいる。									○		○		○			○	